

町全体で子どもの読書を推進 子ども読書活動推進計画策定

町では、子どもたちがいつでも読書のできる機会と環境を提供し、子どもの読書を町全体で推進していくため、『中山町子ども読書活動推進計画』を策定しました。

◇なぜ読書が必要か

子どもにとっての読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。実際に、子どもの頃に読書の多い成人ほど、社会性・意欲・関心・文化的作法・教養などにおいて、意識・能力が高いという調査報告^(※)があります。

◇子どもたちを取り巻く状況

前述したように、読書は人格を形成する過程で欠かせないものですが、今日は、テレビやゲーム、インターネットなど子どもたちが夢中になるものが溢れており、子どもたちの活字離れ、読書離れが懸念されています。中山町の子どもたちについても

例外ではありません。

◇町全体で読書を推進

子どもの読書習慣は日常生活の中で身に付くものであり、家庭での読書環境や身近にいる大人の読書活動が大きく影響しますが、より豊かな読書環境を提

供するには、家庭を取り巻く地域や学校での環境整備も大切です。そこで、町では『中山町子ども読書活動推進計画』を策定。平成26年度から30年度までの5年間を計画期間とし、子どもたちが読書の習慣を身に付け、自主的に読書を行えるよう、家庭、地域、学校、行政が連携し、積極的に読書を推進していくこととしました。

※平成25年2月に独立行政法人国立青少年教育振興機構が発表した「子どもの読書活動の実態とその影響・効果に関する調査研究」による

主な目標値 計画期間：平成26年度～30年度

	平成26年1月 アンケート結果	平成30年度 目標値
読書が好きなお子どもの割合	78%	85%
中学生で月に1回以上学校図書館に行く生徒の割合	18%	40%
家庭で読書に関する取り組みをしている保護者の割合	92%	98%
親子で月に1回以上ほんわ館へ行く割合	36%	45%

具体的な取り組み

家庭、幼稚園・保育園、学校、地域が連携し、社会全体・町全体で子どもの読書活動を推進します。

家庭	家庭での読み聞かせ・読書のきっかけづくりとその継続への支援を通し、家族ぐるみの読書活動を推進します。 ⇒「ブックスタート事業」・「新1年生への本プレゼント事業」の実施
幼稚園 保育園	子どもたちが本に興味を持ち、いつでも手を伸ばせる環境づくり、家庭への情報提供や広報活動に取り組みます。 ⇒園での読み聞かせの継続、図書コーナーの充実、蔵書貸し出しの推進
学校	「読書習慣の定着」「授業での読書指導の充実」「環境整備と組織的な活動」の3つを柱に、読書活動を推進します。 ⇒学級活動での読書活動の充実、学校図書館図書コーナーの整備・充実
地域	本に出会える環境づくりを地域全体で進めるため、図書館利用の促進や読書活動の啓発に取り組みます。 ⇒ほんわ館のサービスの充実、団体貸出や館内利用の促進

読書好きな子ども
78% → 85% に



町立図書館ほんわ館、オープンから2周年 入館者、予想の2倍。笑顔のわが広がっています♪



ボランティアによる絵本の読み聞かせ。
読み聞かせは、毎月第3土曜日に定例で開催しています。

一昨年4月30日にオープンした町立図書館ほんわ館。オープン以来多くの方にご利用いただき、今年の3月末までの入館者は12万8600人にもなりました。当初、年間3万人の来館を見込んでいたので、予想の2倍を超える来館があったことになりました。

そんなほんわ館で、4月29日、オープン2周年の記念イベントが開催されました。

内容は、本や紙芝居の読み聞かせ、つまみ細工の体験教室、ブックカフェと盛りだくさん。また、初めての試みとなる「読書会」も行われました。「読書会」は、参加者全員で指定された一つの作品を読んで、感想について自由におしゃべりをするという

もの。参加した方は、「同じ作品でもそれぞれ受け止め方が違うので、他の方の感想をもとに視点を変えてみると、違った楽しみ方ができる」「課題の本を指定してもらおうと、いつも自分が読んでいるジャンルとは違うものを読むことができる。世界が広がった」と話し、本を囲んでおしゃべりに花を咲かせていました。

「ほんわ館」という名前には、「本を囲んで和ができてほしい」、「図書館を中心として人々のつながりの輪が広がってほしい」、「ほんわかと温かい気持ちになってほしい」という3つの願いが込められています。その名前に込められた思いの通り、ほんわ館には多くの方が訪れ、子どもから大人までイベントを楽しみ、笑顔のわが広がっていました。



つまみ細工の体験教室では、ちりめんを使って髪飾りを作りました。



初めての試みとなった「読書会」。活発な意見交換がされました。

寄附ありがとうございます じゅいさま



大津町長(左)に時計を手渡す峯田会長(右)

◆女性・女児の生活向上のため、様々な奉仕活動を行っている世界的組織「国際ソロプチミスト」。この組織の認証を受け、山辺町を中心に活動している国際ソロプチミスト山辺(峯田洋子会長・山辺町)より、4月17日(木)、からくり時計、CDプレイヤー、コーヒーマーカを寄附していただきました。これは、同団体が開催するチャリティーバザー等イベントの収益金をもとに「認証20周年記念事業」として行われ

たものです。今回寄附していただいたからくり時計等は、ほんわ館に設置されます。◆3月25日(火)、日本マクドナルド株式会社より、子どもたちの安全に役立ててほしいと、防犯笛100個を寄附していただきました。防犯笛は、長崎・豊田両小学校の新1年生に配付されました。